

社会福祉法人 しがらき会

【法人事務局(信楽青年寮内)】

tel 0748-82-0588

fax 0748-82-0961

URL <http://www.shigaraki.or.tv> e-mail shigaraki@miracle.ocn.ne.jp



fu fu fu 幸せを感じたとき...



アートに国境は存在しません。今年もそんな観てわくわくする絵画や陶芸の作品を多数展示します。是非、アールブリュックの世界をご堪能下さい。

二〇一一年に初めて台湾の中華民国智障者家長總會と交流を持ち、早いもので7年目を迎えるようになっています。その間、台湾各地やタイバンコクなどで交流展覧会を開催することができました。また日本会場としては、滋賀県立陶芸の森信楽産業展示館をお借りして、今年で5回目の展覧会を開催させていただきます。アートを通じた交流は簡単に言葉の壁を超えてまいります。

【開催期間】
6月17日(土) ～ 7月16日(日)
【会場】
滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館
【開館時間】
午前10時～午後5時
【作品展示】
社会福祉法人しがらき会
中華民国智障者家長總會(台湾)

二〇一七年度『しがらきから吹いてくる風』
『日本・台湾交流展』開催のお知らせ



青年寮の一品

【スナップエンドウと豆腐の海苔和え】

材料(4人分) 1人前-105kcal, T-15分

- ◆スナップエンドウ ... 180g
- ◆木綿豆腐 ... 1/2丁(200g)
- ◆コーン ... 40g
- ◆刻みのり ... 2g
- ◆和風ドレッシング ... 40g



作り方

- ①豆腐は水切りをしておく(少しレンジ加熱して水気を切っても良いです)。
- ②スナップエンドウは筋を取り、塩茹でする(お好みでカットしてもOK)。コーンは茹でする。
- ③荒く潰した豆腐と②の具材と合わせ、刻みのりとドレッシングで和える。

★旬のスナップエンドウが甘く、鮮やかに彩ってくれます★

しがらき地域活性化事業 第1回ワークショップ

こいのぼりとかぶとを作ろう



4月22日(土)、今年度初めてのワークショップをFUJIKI(旧 藤喜陶苑)で開催いたしました。今回のテーマは「端午の節句～こいのぼりとかぶとを作ろう～」です。ヤクルトのプラ容器を胴体部分として活用した「こいのぼり」、陶器のカップを活用した「かぶと」のどちらか一つを選んで制作していただきました。



当日は午前24名、午後32名と、たくさんの方が続々とご参加くださいました。こいのぼりでは、信楽青年寮の利用者さん手作りのさをり織りや和紙、色粘土を貼り付け、絵の具等で絵を描き、ボタンで目を、毛糸やフェルトで髪の毛を表現されました。本当にアイデア豊富で、楽しさ溢れた作品がたくさん出来上がりました。

最後は、「ぼんた焼」とお茶でホッと一息。アンケート結果からも楽しんでいただけたようで、ゆったりした時間をお過ごしいただけたように感じます。



☆今月のおすすめスイーツ☆
「プリン」(右) 350円
「チーズケーキ」(左) 350円
*季節により果物が変わります。



皆様にはいつもご利用いただき誠にありがとうございます。
営業日には「ぼんた焼」を熱々でお買上げいただけます。
お持ち帰り用のクッキーも何種類かご用意しております(6月末までの販売で、10月より再販致します)。

～皆様のご来店をお待ちしております。～

- ◆開店時間 10:00～16:00 ◆定休日 水・木
- ◆甲賀市信楽町牧1058-24 ◆Tel: 83-1098

次回第2回ワークショップ ☆テーマ「七夕の節句」



- 開催日時 平成29年6月24日(土)
- 開催場所 FUJIKI(旧 藤喜陶苑店舗)
- 午前の部 10:00～11:30(20名)
- 午後の部 13:30～15:00(20名)

【参加費：無料】

参加希望の方は、信楽青年寮までご連絡
お願いいたします。 [Tel: 82-0588]

「しがらき地域生活 支援センター」 だより

新緑の季節、一雨ごとに山の色が濃くなっていきますが、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

日頃より、しがらき地域生活支援センターの事業に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、今年度は平成30年度に障害福祉施策の基本指針見直しにおける様々な情報が錯綜する年であり、「障害福祉サービス」がさらに細分化されると考えられます。「障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」ということが目的であり「障害の有無にかかわらず、国民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に…」近づけるような基本指針の見直しであってほしいと願っています。

互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に…近づけるような基本指針の見直しであってほしいと願っています。

どんな時代にあっても、信楽のグループホームの世話人や支援員やヘルパー、相談員は連続した「暮らし」として捉え、周りの状況の変化に惑わされず、「普通の暮らし」が変わらないよう、影で足を使い、汗をかき、知恵を絞りながら地域と利用者の「仲介人」として役割を担うことだと考えます。

そこで、ご本人の意思をもとに、「ご本人自身が「必要」な時に「必要」なことを「必要」なだけ選び支援を受けられたらと思います。あくまでも本人が主体で本人が決定していく事をサポートできればと考えています。

「地域の暮らし」を主体的に築く過程で、ニーズを充足する為に寄り添い共に歩みながら、利用者や利用者の家族、地域の方々の「信頼」を築いていけたらと思っております。

時代が変わっても変わらぬ暮らしの在り方を支援者として一人一人が考え、謙虚に学び、繋いでいくことができればと思います。

(平林 記)

「甲賀働き暮らし 応援センター」 だより

障がい者雇用・生活支援センター（甲賀）では、知的障がい当事者が集まって行っている本人のグループ活動をささえる支援を行っています。「あいあいクラブ」といふ会の名前で、毎月1回土曜日10名ほどのメンバーが集まり、旅行の話や外出の企画などいろいろ話し合っています。支援者はやや当事者の代弁をしがちです。「本人たちのことを決めるときは、本人たちが決める」と、本人たちが中心の活動であることを踏まえて側面から支援をしています。

今年の春には、毎年恒例の一泊旅行が企画されて、道後温泉に行ってきました。毎年の事でメンバーもみんなは旅行慣れしてきているのですが、それでも本人たちが企画を考え、意見を言って、それを実行することはとても大変なことだと思います。「今年も旅行に行つて良かったなあ。」とみんな話をして、また一つ良い思い出ができました。

頑張つて働いているメンバーが集まり、自分たちのことを考えた食べたり、楽しい事をしたりすることで、充実し、仕事にも精が出る、自立した就労生活が送れるようにこれからも本人の活動を支援を行いたいと思います。

また、当センターでは、働いて

いる障がいのある方の在職者交流会「はたらくらぶ」を年3回ほど開催しております。今年も、勉強会、食事会、ボーリング大会、茶話会などで定期的に集まれる会を企画しますので、興味がある方は問い合わせ下さい。

甲賀働き暮らし応援センター
甲賀市水口町水口6200
(甲賀県事務所本館1階)
TEL 0748(63)5830



「ワークセンター 紫香楽」より 「こんにちは」

○紫香楽和紙友の会
今回は、『紫香楽和紙友の会』を紹介致します。『紫香楽和紙友の会』はワークセンター紫香楽が制作する「紫香楽和紙」及び「和紙製品」の事業を応援し、会員相互の親睦を図ることを目的に設立された会です。皆様の温かいご支援のもと、今年で設立十四年を迎えることが出来ました。

『紫香楽和紙友の会』の事業としては、毎年「絵はがき展」を信楽図書館で開催しております。信楽町内の小学五・六年生を対象に紫香楽和紙手漉きのはがきを使った作品を募集し、た

くさんの児童に参加いただいております。また、信楽町の新宮神社で催される「げなげな市」に出店し、より紫香楽和紙を知ってもらおうと昨年度より取り組んでいます。この活動を通して地域のみなさまに紫香楽和紙を身近に感じていただけたように思い大変うれしく思っています。

『紫香楽和紙友の会』では、様々な活動を通して和紙が皆様身近になれるよう、これから紫香楽和紙を応援していきたいと思っております。同時に『紫香楽和紙友の会』の入会も募集しております。

(田中 記)

『紫香楽和紙友の会』会員募集中！！

- ◆年会費◆ ￥2,000
- ◆会員特典◆
- ①ギャラリー野野へのご案内と紫香楽和紙製品の割引販売
- ②会員限定記念品の進呈

～皆様のご入会を心よりお待ちしております。～
事務局 TEL: 82-2198 (前野・田中)

ダブルクリック 私の視点

私が信楽青年寮で働かせて頂くようになり、今年で五年目になりました。今回このダブルクリックを書かせて頂くにあたり、自分が日頃どういふ思いを持って支援を行っているのかを改めて考えてみました。

自分が支援の中で大切にしている事は、利用者の方がどういふ思いを持って過ごしておられるかを考えるという事でした。自分の思いをなかなか上手に伝えられない方は、言葉ではなく行動などで自分の思いを表現されます。そういった方がどんな

思いを持って、なぜそういった行動を取られたのか、考える事が支援の中で大切だと思っております。全部ではないですが、考える事でこういう思いがあるのでは、と気付ける事があります。それまでわからなかった事に気付けた時には、喜びを感じます。

この原稿を書かせて頂いて、改めて自分の中に大切にしている思いを再認識することが出来ました。

これからもこの思いを大切に、日頃の支援に努めていきたいと思っております。

(金子 記)

職員コラム

私は大阪にある某テーマパークが、年パスを買って何度も行くくらい大好きです。大学生のころから友達と何度も遊びに行っていました。大学を卒業して数年経ちますが、今でも変わらず大学生時代の友達と遊びに行き、昔と変わらないノリとテンションではしゃいでしまっています。友達とはなかなか休みも合わないことも多いですが、変わらずに遊んでくれる友達に感謝です。誰かが結婚するまでに一度旅行に出かけられたらいいなあ。

(M・H 記)